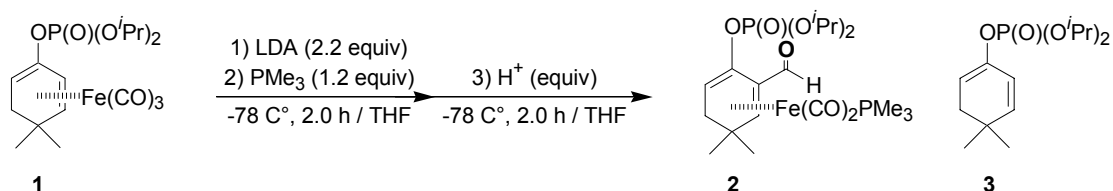


ジエン—鉄錯体の3位アニオンを利用した合成反応の開発 Development of the Synthetic Method Using an Anion of Diene Iron Complexes

河窪秀和、佐渡嶋充、岡内辰夫（九工大工）
Hidekazu Kawakubo, Mitsuru Sadoshima, and Tatsuo Okauchi
(Faculty of Engineering, Kyushu Institute of Technology)

ジエン—鉄錯体は、ジエン部位の保護基としてや、反応において立体的な影響をもたらすことが知られている。しかしながら、ジエン—鉄錯体のジエン部位を直接反応に利用した例はほとんど知られていない。演者らは2位にリン官能基を有するジエン—鉄錯体に対し、LDAなどの塩基を作用させることで、3位がアリチオ化できることを見出している。

本発表では、鉄に配位することのできるリン配位子を加えることで3位への鉄上のカルボニルの挿入反応が進行することを見出したので報告する。また、引き続き求電子剤との反応も併せて報告する。



Table

Entry	H ⁺ (equiv)	Yield (%)	
		2	3
1	H ₂ O (excess)	26	57
2	TfOH (5.0)	83	trace

発表者紹介

氏名 河窪 秀和 (かわくぼ ひでかず)

所属 九州工業大学大学院 工学研究科
物質工学専攻 応用化学分野

学年 M2

研究室 有機合成化学 I 研究室

